

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 25 年 2 月 7 日 (2013.2.7)

【公開番号】特開 2011-128958 (P2011-128958A)  
 【公開日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-026  
 【出願番号】特願 2009-287759 (P2009-287759)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/22 (2006.01)

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/22 5 2 0 S

G 0 6 F 17/21 5 7 0 R

【手続補正書】  
 【提出日】平成 24 年 12 月 12 日 (2012.12.12)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

所定の参照文章を格納する参照文章格納手段と、

作成の対象となる文章の一部を構成する 1 文字あるいは複数の文字の組み合わせられた語句からなる文章片を入力する文章片入力手段と、

この文章片入力手段により入力した文章片に対して予め用意した辞書を用いた文法解析を行うと共に、前記参照文章格納手段に格納した参照文章に対して前記予め用意した辞書を用いて文法解析して文章の構成要素ごとに区切ったものと前記入力した文章片を逐次比較して、入力した文章片の前方に接続する可能性のある文章の構成要素および入力した文章片によって包括される下位概念としての文章の構成要素の少なくとも一方を入力候補として検索する文章部分検索手段と、

この文章部分検索手段の検索で入力候補としてヒットした文章部分としての前記文章の構成要素のそれぞれを 1 つの画面上にその他の部分と識別可能な表示態様で表示する文章部分表示手段と、

この文章部分表示手段に前記その他の部分と識別可能な表示態様で表示した文章部分のうちの 1 つが文章入力用として指定されたとき前記入力したその文章片に対応付けてその指定された文章部分を入力中の文章に加入すると共に加入後の文章部分を前記参照文章格納手段に参照文章の一部として追加する文章部分加入手段  
 とを具備することを特徴とする文章入力装置。

【請求項 2】

前記参照文章格納手段は、作成中の文書を格納するメモリ領域であることを特徴とする請求項 1 記載の文章入力装置。

【請求項 3】

前記参照文章格納手段は、作成中以外の特定の文書の一部または全部を初期的に格納するメモリ領域であることを特徴とする請求項 1 記載の文章入力装置。

【請求項 4】

前記文章部分表示手段は、前記文章片入力手段によって入力する文章片の入力ウィンドウとは別のウィンドウとして形成されることを特徴とする請求項 1 記載の文章入力装置。

**【請求項 5】**

前記文章部分表示手段は、前記文章片の入力ウィンドウ内に形成されることを特徴とする請求項 1 記載の文章入力装置。

**【請求項 6】**

前記文章部分加入手段は、前記文章部分表示手段により表示された検索結果としての前記文章の構成要素のいずれかをタッチパネルで選択して加入することを特徴とする請求項 1 記載の文章入力装置。

**【請求項 7】**

前記文章部分検索手段は、「この」、「前記」等の特定の指示語の表わす下位概念の文章部分を、所定の設定内容に応じて検索することを特徴とする請求項 1 記載の文章入力装置。

**【請求項 8】**

前記文章部分検索手段は、「さん」、「課長」等の特定の後方構成語句に対応する前方構成語句としての文章部分を、所定の設定内容に応じて検索することを特徴とする請求項 1 記載の文章入力装置。

**【請求項 9】**

前記文章部分検索手段は、文章片として入力する文字列の文字が増加するに連れてこれらの文字列全体との論理を採った形で検索結果を表示することを特徴とする請求項 1 記載の文章入力装置。

**【請求項 10】**

作成の対象となる文章の一部を構成する 1 文字あるいは複数の文字の組み合わせられた語句からなる文章片を入力装置を使用して入力する文章片入力ステップと、

この文章片入力ステップで入力した文章片に対して予め用意した辞書を用いた文法解析を行うと共に、所定の参照文章領域に格納した参照文章に対して前記予め用意した辞書を用いて文法解析して文章の構成要素ごとに区切ったものと前記入力した文章片を逐次比較して、入力した文章片の前方に接続する可能性のある文章の構成要素および入力した文章片によって包括される下位概念としての文章の構成要素の少なくとも一方を入力候補として検索する文章部分検索ステップと、

この文章部分検索ステップによる検索で入力候補としてヒットした文章部分としての前記文章の構成要素のそれぞれを 1 つの画面上にその他の部分と識別可能な表示態様で表示する文章部分表示ステップと、

この文章部分表示ステップで前記その他の部分と識別可能な表示態様で表示した文章部分のうちの 1 つが文章入力用として指定されたとき前記入力したその文章片に対応付けてその指定された文章部分を入力中の文章に加入すると共に加入後の文章部分を前記参照文章領域に参照文章の一部として追加する文章部分加入ステップ  
とを具備することを特徴とする文章入力方法。

**【請求項 11】**

コンピュータに、

作成の対象となる文章の一部を構成する 1 文字あるいは複数の文字の組み合わせられた語句からなる文章片を入力装置を使用して入力する文章片入力処理と、

この文章片入力処理で入力した文章片に対して予め用意した辞書を用いた文法解析を行うと共に、所定の参照文章領域に格納した参照文章に対して前記予め用意した辞書を用いて文法解析して文章の構成要素ごとに区切ったものと前記入力した文章片を逐次比較して、入力した文章片の前方に接続する可能性のある文章の構成要素および入力した文章片によって包括される下位概念としての文章の構成要素の少なくとも一方を入力候補として検索する文章部分検索処理と、

この文章部分検索処理による検索で入力候補としてヒットした文章部分としての前記文章の構成要素のそれぞれを 1 つの画面上にその他の部分と識別可能な表示態様で表示する文章部分表示処理と、

この文章部分表示処理で前記その他の部分と識別可能な表示態様で表示した文章部分の

うちの1つが文章入力用として指定されたとき前記入力したその文章片に対応付けてその指定された文章部分を入力中の文章に加入すると共に加入後の文章部分を前記参照文章領域に参照文章の一部として追加する文章部分加入処理  
とを実行させることを特徴とする文章入力プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明では、(イ)所定の参照文章を格納する参照文章格納手段と、(ロ)作成の対象となる文章の一部を構成する1文字あるいは複数の文字の組み合わせられた語句からなる文章片を入力する文章片入力手段と、(ハ)この文章片入力手段により入力した文章片に対して予め用意した辞書を用いた文法解析を行うと共に、前記した参照文章格納手段に格納した参照文章に対して前記した予め用意した辞書を用いて文法解析して文章の構成要素ごとに区切ったものと前記した入力した文章片を逐次比較して、入力した文章片の前方に接続する可能性のある文章の構成要素および入力した文章片によって包括される下位概念としての文章の構成要素の少なくとも一方を入力候補として検索する文章部分検索手段と、(ニ)この文章部分検索手段の検索で入力候補としてヒットした文章部分としての前記した文章の構成要素のそれぞれを1つの画面上にその他の部分と識別可能な表示態様で表示する文章部分表示手段と、(ホ)この文章部分表示手段に前記したその他の部分と識別可能な表示態様で表示した文章部分のうちの1つが文章入力用として指定されたとき前記した入力したその文章片に対応付けてその指定された文章部分を入力中の文章に加入すると共に加入後の文章部分を前記した参照文章格納手段に参照文章の一部として追加する文章部分加入手段とを文章入力装置が具備する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明では、(イ)作成の対象となる文章の一部を構成する1文字あるいは複数の文字の組み合わせられた語句からなる文章片を入力装置を使用して入力する文章片入力ステップと、(ロ)この文章片入力ステップで入力した文章片に対して予め用意した辞書を用いた文法解析を行うと共に、所定の参照文章領域に格納した参照文章に対して前記した予め用意した辞書を用いて文法解析して文章の構成要素ごとに区切ったものと前記した入力した文章片を逐次比較して、入力した文章片の前方に接続する可能性のある文章の構成要素および入力した文章片によって包括される下位概念としての文章の構成要素の少なくとも一方を入力候補として検索する文章部分検索ステップと、(ハ)この文章部分検索ステップによる検索で入力候補としてヒットした文章部分としての前記した文章の構成要素のそれぞれを1つの画面上にその他の部分と識別可能な表示態様で表示する文章部分表示ステップと、(ニ)この文章部分表示ステップで前記した他の部分と識別可能な表示態様で表示した文章部分のうちの1つが文章入力用として指定されたとき前記した入力したその文章片に対応付けてその指定された文章部分を入力中の文章に加入すると共に加入後の文章部分を前記した参照文章領域に参照文章の一部として追加する文章部分加入ステップとを文章入力方法が具備する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0012】

更に本発明では、コンピュータに、文章入力プログラムとして、（イ）作成の対象となる文章の一部を構成する1文字あるいは複数の文字の組み合わせられた語句からなる文章片を入力装置を使用して入力する文章片入力処理と、（ロ）この文章片入力処理で入力した文章片に対して予め用意した辞書を用いた文法解析を行うと共に、所定の参照文章領域に格納した参照文章に対して前記した予め用意した辞書を用いて文法解析して文章の構成要素ごとに区切ったものと前記した入力した文章片を逐次比較して、入力した文章片の前方に接続する可能性のある文章の構成要素および入力した文章片によって包括される下位概念としての文章の構成要素の少なくとも一方を入力候補として検索する文章部分検索処理と、（ハ）この文章部分検索処理による検索で入力候補としてヒットした文章部分としての前記した文章の構成要素のそれぞれを1つの画面上にその他の部分と識別可能な表示態様で表示する文章部分表示処理と、（ニ）この文章部分表示処理で前記したその他の部分と識別可能な表示態様で表示した文章部分のうちの1つが文章入力用として指定されたとき前記した入力したその文章片に対応付けてその指定された文章部分を入力中の文章に加入すると共に加入後の文章部分を前記した参照文章領域に参照文章の一部として追加する文章部分加入処理とを実行させる。